

## カンボジア 2009 年全国事業所リスティング 速報結果の概要

### はじめに

総務省統計局、総務省統計研修所及び独立行政法人統計センターが中心となって支援している技術協力プロジェクト「カンボジア政府統計能力向上計画フェーズ2」は、主としてカンボジア 2008 年人口センサス（国勢調査）の調査・集計に対して技術協力を行ってきており、その成果の一つとして 2008 年 9 月 3 日に速報結果が公表された。また、本年 9 月には確報結果の公表が予定されている。

これと並行して、カンボジアでは初めてとなる経済センサス（事業所の国勢調査）の実施が 2011 年に計画されている。2011 年経済センサスに向けての準備作業の一環として、まず、カンボジア全国の実業所数や従業者数等の基本的な情報を全数として把握するために、2009 年全国事業所リスティング（事業所名簿整備調査）が実施された。その速報結果が本年 6 月 9 日に公表されたので、本号では主にその概要を紹介する。

なお、速報結果の完全版（和訳）は、下の総務省統計局ウェブサイトに掲載されている。

[http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/pdf/el09pr\\_j.pdf](http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/pdf/el09pr_j.pdf)

また、上記のプロジェクトによる 2008 年人口センサスに対する支援の概要については、本誌 2008 年 8 月号を参照されたい。

### 1. 調査の概要

まず、2009 年全国事業所リスティングの調査の内容について述べるが、これについては、前号に詳しく掲載されているので、ここでは簡潔な説明に留める。

調査は、本年 2 月 9 日現在で実施され、調査対象は、「農林漁業に属する個人事業所や移動販売を除くカンボジア国内に所在するすべての事業所」となっている。カンボジアにおいて、このように大規模な事業所を対象とした統計調査が実施されたのは、今回が初めてである。

ここでいう事業所とは、「固定の場所で経済活動を営み、固定的な設備がある事業所」である。したがって、カンボジアではよく見かける、果物や菓子などを屋台や自転車で移動しながら販売している事業所等、いわゆるインフォーマル・セクターに属する事業所等は、調査対象となっていない。

調査方法は、調査員が各事業所を訪問し、オーナーまたは代表者にインタビューする方法（他計方式）で行われた。調査事項は以下のとおりである。

- (1) 事業所の名称
- (2) 事業所の代表者の男女の別
- (3) 事業所の所在地
- (4) 商業省へ登記済みか否か

- (5) 経営組織
- (6) 本所・支所の別
- (7) 従業者数(総数、男、女)
- (8) 産業分類(細分類)
- (9) 事業所の電話番号

## 2. 速報結果の概要

次に、2009年全国事業所リスティングの速報結果について述べるが、この速報結果は、調査票から集計したものではなく、要計表、すなわち、調査票の枚数を確認するために、各調査員が作成した村（Village）別事業所数の一覧表から集計したものである。

### (1) 事業所数

速報結果によると、2009年2月9日におけるカンボジア全国の実業所数は375,095事業所で、人口1,000人当たりの事業所数は28.0事業所であった。この数値を日本や東南アジア各国と比較してみると、日本が590万事業所(同46.3事業所)、インドネシアが2270万事業所(同102.3事業所)、ラオスが20万9千事業所(同37.4事業所)となっており、カンボジアは人口規模に対して事業所数が比較的少ないことがわかる。

州別（特別市は州と同格）にみると、カンボジアの首都プノンペン特別市が55,802事業所と最も多く、カンボジア全国の14.9%を占めている。プノンペン特別市は、近年、経済特区の一部完成、高層ビルの建設ラッシュなどとともに、第三次産業が目覚ましい成長を遂げている。以下、コンボンチャム州が43,787事業所(同11.7%)、カンダール州が38,791事業所(同10.3%)、タケオ州が27,431事業所(同7.3%)、プレイヴェン州が26,563事業所(同7.1%)となっており、これら上位5州のみでカンボジア全事業所の50%を占めていることが分かる。

表1. カンボジアの州別事業所数及び全国に占める割合（速報値）  
上位・下位5州 - 2009年

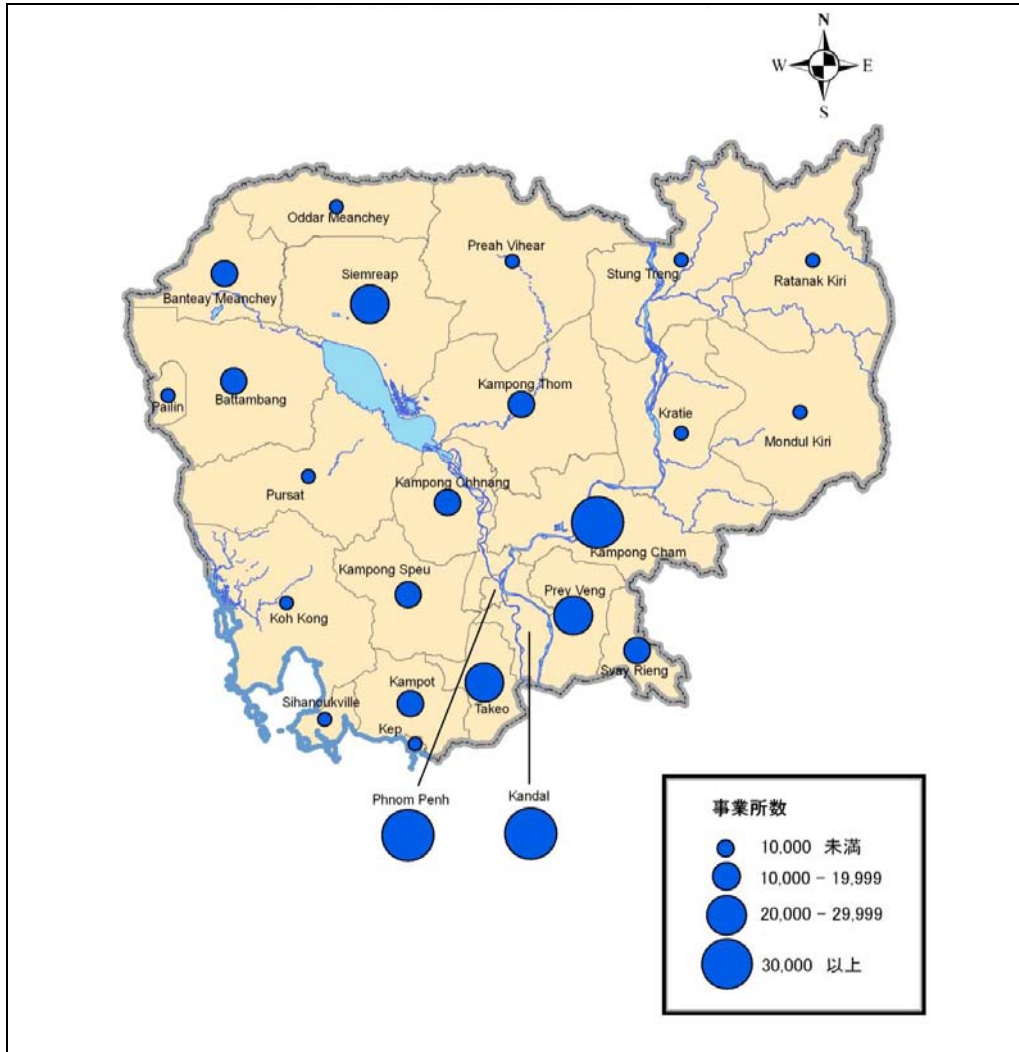
(事業所、(%) )

上位5州		下位5州	
プノンペン特別市 (Phnom Penh)	55,802(14.9)	ケップ特別市 (Kep)	789(0.2)
コンボンチャム州 (Kampong Cham)	43,787(11.7)	モンドルキリ州 (Mondul Kiri)	1,637(0.4)
カンダール州 (Kandal)	38,791(10.3)	パイリン特別市 (Pailin)	1,904(0.5)
タケオ州 (Takeo)	27,431(7.3)	ストゥントゥレン州 (Stung Treng)	2,656(0.7)
プレイヴェン州 (Prey Veng)	26,563(7.1)	オッドミンチエイ州 (Oddar Meanchey)	3,683(1.0)

出典：カンボジア2009年全国事業所リスティング速報結果 表1

一方、事業所数の少ない下位の5州をみると、ケップ特別市の789事業所(同0.2%)が最も少なく、以下、モンドルキリ州が1,637事業所(同0.4%)、パイリン特別市が1,904事業所(同0.5%)、ストゥントゥレン州が2,656事業所(同0.7%)、オッドミンチエイ州が3,683事業所(同1.0%)となっている。(表1参照)

地図 1. カンボジアの州別事業所数(速報値) - 2009 年



出典：カンボジア 2009 年全国事業所リスティング速報結果 地図 1

(2) 事業所の分布

これら上位・下位 5 州の地理的な分布をみると、上位 5 州は、首都プノンペン特別市を中心として南部に位置しており、下位 5 州は、首都から遠く離れた北東部に位置していることが分かる。これは、カンボジアが、開発途上国でよく見られる「首都一極集中型」の事業所分布と同じ傾向であることを示している。このことは、表 2 や地図 2 の事業所密度をみると、より詳細に掴むことができる。一際目につくのは、プノンペン特別市の 192.4 事業所/km<sup>2</sup> という数値である。プノンペン特別市の面積は、カンボジア全 24 州の中で最も小さい 290 km<sup>2</sup> であるにもかかわらず、全体の約 15% に相当する 55,802 事業所が集中している。(表 2、地図 1、地図 2 参照)

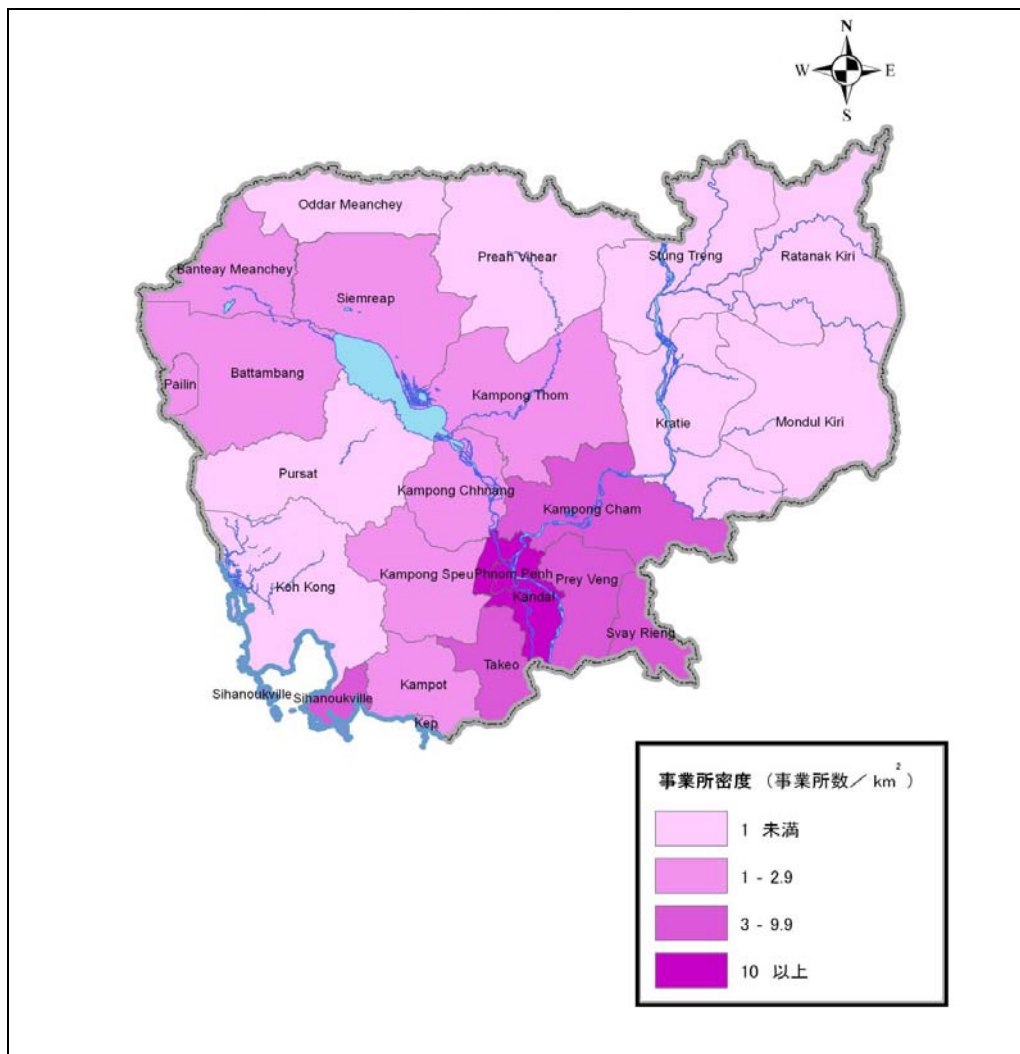
表2. カンボジアの州別事業所密度（速報値） 上位・下位5州 - 2009年

(事業所数/Km<sup>2</sup>)

上位5州		下位5州	
プノンペン特別市 (Phnom Penh)	192.4	モンドル キリ州 (Mondul Kiri)	0.1
カンダール州 (Kandal)	10.9	ストウトゥレン州 (Stung Treng)	0.2
プレア シアヌーク特別市 (Sihanoukville)	8.8	ラタナキリ州 (Ratanak Kiri)	0.4
タケオ州 (Takeo)	7.7	プレア ビシア州 (Preah Vihear)	0.4
プレイ ヴェン州 (Prey Veng)	5.4	コッコン州 (Koh Kong)	0.4

出典：カンボジア 2009 年全国事業所リスティング速報結果 表 2

地図 2. カンボジアの州別事業所密度（速報値） - 2009年



出典：カンボジア 2009 年全国事業所リスティング速報結果 地図 2

表3. カンボジアの州別 1,000 人当たりの事業所数（速報値）

上位・下位 5 州- 2009 年

(事業所/1,000 人)

上位5州		下位5州	
プノンペン特別市 (Phnom Penh)	42.1	バットアンボン州(Battambang)	18.9
プレアシアヌーク特別市 (Sihanoukville)	38.1	オッドミンチエイ州 (Oddar Meanchey)	19.9
コッコン州 (Koh Kong)	33.9	ケップ特別市 (Kep)	22.1
タケオ州 (Takeo)	32.5	カンポット州(Kampot)	22.8
カンダール州 (Kandal)	30.7	バンティエミンチエイ州(Banteay Meanchey)	23.0

出典：カンボジア 2009 年全国事業所リスティング速報結果 表3-1

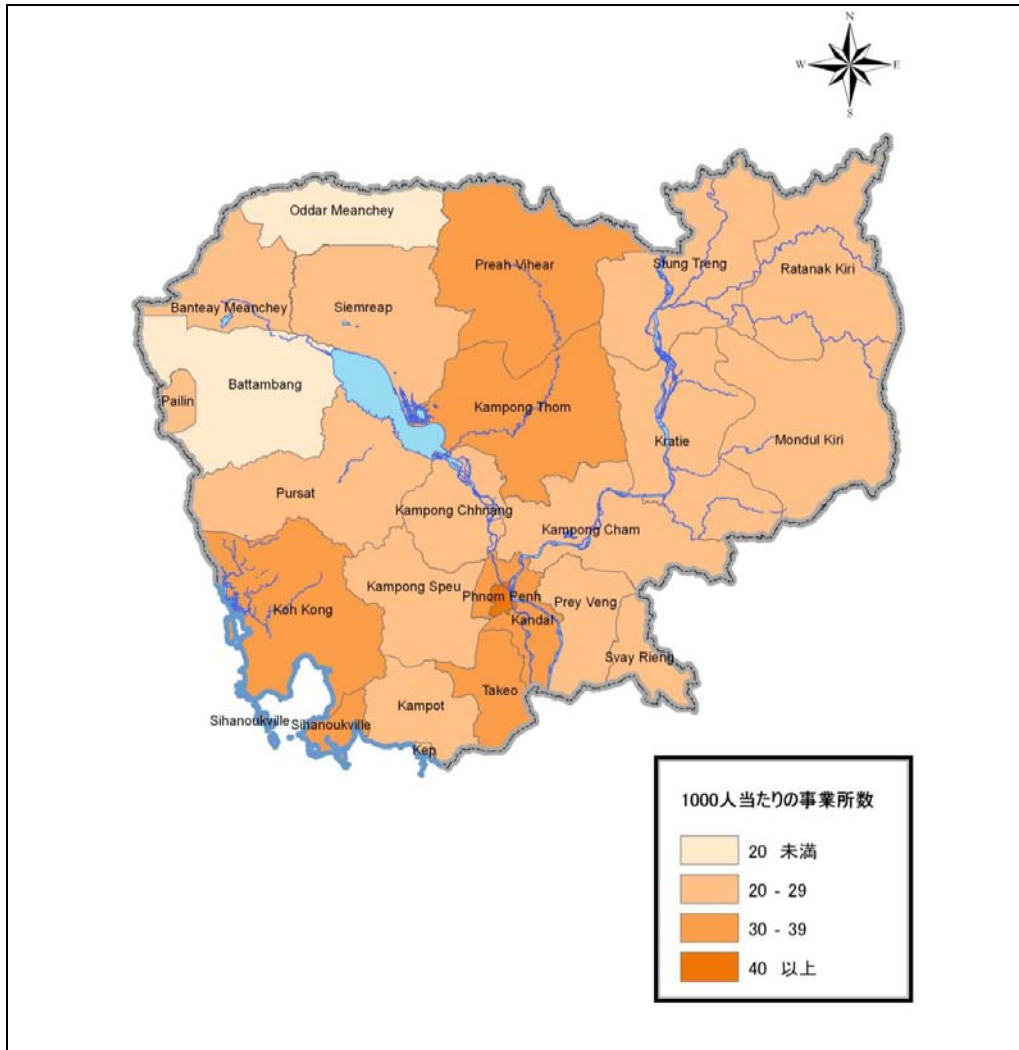
(3) 人口 1,000 人当たりの事業所数

人口と事業所数の間には、強い正の相関関係があるといわれているが、2008 年人口センサスの速報結果と 2009 年全国事業所リスティングの速報結果を比較してみると、カンボジアにも、このことが当てはまっていることがわかる。2008 年人口センサス速報結果の完全版（和訳）は、下の総務省統計局ウェブサイトに掲載されている。

[http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/pdf/pre\\_repl.pdf](http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/pdf/pre_repl.pdf)

この観点から、州別に 1,000 人当たりの事業所数でみると(表3、地図3参照)、目を引くのは3番目のコッコン州の 33.9 事業所である。コッコン州は、事業所数が全 24 州のうち 18 番目、事業所密度が 20 番目及び人口が 20 番目と、それぞれ下位の方であるが、1,000 人当たりの事業所数だけは、3 番目と上位になっている。このことは、事業所数は必ずしも多くはないものの、その人口規模に対しては比較的多くの事業所数がある、ということの意味している。その理由の1つとして考えられるのが、コッコン州は、タイとの国境に接しており、タイからの客を対象とした事業所が国境の近くに多く存在していることである。

地図3. カンボジアの州別 1,000 人当たりの事業所数(速報値) - 2009 年



出典：カンボジア 2009 年全国事業所リスティング速報結果 地図3-1

### おわりに

今回の速報結果では、事業所数のみの公表であったが、本年 12 月に公表予定の確報結果では、各調査事項について集計されるため、産業別や従業者別の事業所数など、より詳細で興味深い結果が公表されることになっている。2008 年人口センサスや 2011 年経済センサスから得られる統計は、カンボジアの今日の姿を如実に示す指標として、また、将来に向けての開発指標として大いに利用されることになっている。このように、我が国の支援を通じて、カンボジアで人口センサスや事業所リスティングが円滑に実施され、続いて結果が予定どおり公表されて行く様をみると、筆者も技術協力プロジェクトの一員として、微力ながらもカンボジアの発展に貢献できていることを実感する昨今である。今後も、統計の技術協力を通じて、カンボジアと我が国の友好関係の継続に貢献できれば誠に幸いである。